



特別支援教育だより

令和8年6月 NO 2

知念小学校 校内支援委員会
特別支援教育コーディネーター 尾崎 優子

特別支援(就学)の手続きが始まります

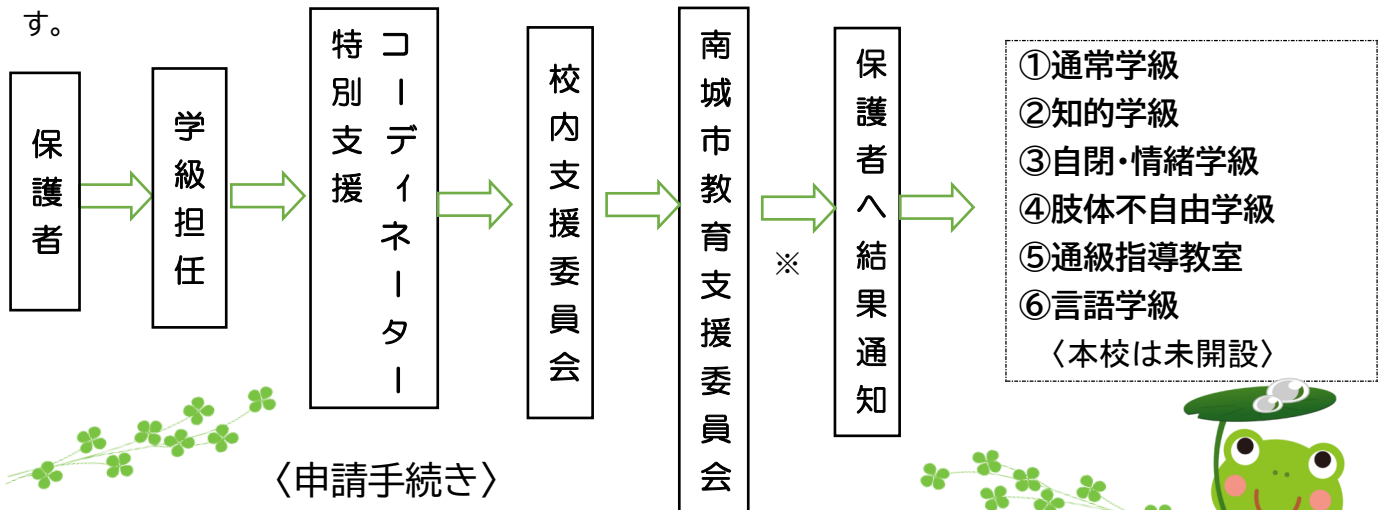
特別支援教育は、特別支援学級だけでなく通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童も含めて、子ども一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、適切な教育や指導を通して必要な支援を行うことを基本としています。通常の学級には、学習に困難のある子ども達や行動の自己コントロールが難しい子ども達、対人関係や集団活動に困り感を持ちやすい子ども達など、自分の力だけでは解決が難しい様々な悩みや課題を持った子ども達があります。そのような子ども達は無理解からくる叱責や注意をたくさん受けていることがあります。子ども達はそのたびに自信を失い、自己評価が下がる事により「やる気のなさ」「無気力」「不登校」「暴力・暴言」などの二次障害に陥ってしまう場合があります。気がついたとき、早めの対応が大切です。

教育支援ってどんなことをするの？

南城市教育支援委員会の委員が来校し「発達検査」「行動観察」等の検査を行った上で「支援方針」を検討します。「発達検査」は単に知能指数(IQ)を出すだけでなくお子さんの得意なこと・苦手なことを理解し、指導に繋げていくことを目的に行います。

次年度の在籍は「保護者の同意」を得て決定します。

教育支援委員会で「発達検査」を行いますが「より詳しくお子さんの状態を把握したい」と思われる方は「専門医の受診」をお勧めします。病院の予約をとるのに2～3ヶ月かかる場合もありますので早めの受診をお願いします。



〈申請手続き〉

新規申請

※中学校進学の際は継続でも新規扱い(特別支援学級・通級指導教室とも)になります。

6月24日(水)までに学校へ申請書を提出

※教育支援(就学)の手続きには、南城市教育委員会による発達検査の結果、または専門医の診断書が必要です。

※教育支援(就学)について相談したい方や、専門医の受診を希望される方は、学級担任または特別支援コーディネーターまでご連絡下さい。